



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心同窓会事務局
電話 059-232-2442



新たな伝統を

同窓会会長
佐脇 功

同窓会会員の皆様には、ご清祥のことと存じお喜び申し上げます。県内外を問わず各地各界で多くの皆様が活躍し、社会に貢献されていることは誠に喜ばしいことです。



学苑近況

学苑長
田中 和磨

皆さんご機嫌いかがですか。お変わりなくご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年十一月一日、本学苑の、中・高等学校校舎改築工事の竣工式を講堂で来賓及び代表生徒あわせて約九〇〇名の参列のもと盛大に開催いたしました。

中・高校舎改築工事は、平成十四年に耐震診断を行った結果、全面改築やむなしという結論で、平成十七年度から四ヶ年で全面改修すること

平素から同窓会の運営並びに母校の発展に格別のご理解ご支援を賜り深く感謝いたします。

母校の近況は、学苑長先生はじめ先生方からご案内されていますように校舎の改築が完成し、新しいグラウンドの造成工事も完工間近となりその偉容は目を見張るばかりです。学苑の歴史は、明治五年を開校の年としています。もともとは、寛保元年（一七四一年）真宗高田派専修寺末寺僧侶の研修道場として、専修

となり、明治三十四年完成の木造建築が、一〇〇有余年の歴史を経て、すべて姿を消し、耐震性の高い構造と優れたデザインによるゆとりやすらぎある空間が演出され、近代的な校舎と生まれ変わりました。(株)鴻池組が、施工精度の高い技術力をベースに、外壁がうす茶色のタイルで統一され、しゃれた建築群となり三階棟が一棟(第二体育館、五階棟が三棟(三号館、四号館、五号館)立ち並んでいます。

そして、今年も、昨年お知らせいたしました中・高等学校新グラウンド造成に取り掛かっております。学苑のすぐ西の田んぼ、三町五反、約一万坪の運動場用地が手に入りました。この土地は、永年学校が喉から手が出るほどほしい土地で、売って

寺第十七世円猷上人が本山学寮で宗典講義をされたことに始まる。寛政八年（一七九六年）勸学堂を創立。寛政九年に第十八世円遵上人が講堂に勸学堂の額を掲げられ（現在、玄関内ホールに掲げる）教場を整備。明治五年（一八七二年）には末寺子弟に限らず一般子弟も收容し教育指導を行った。これをもって開校の年と定めている。

県内で一番古い中学校は明治一三年創立の三重県中学校（後に第一中学校、津中学校、現、津高校）、続いて明治三二年、同時に創立の第二中学校（後に富田中学校、現、四日市高校）、第三中学校（後に上野中学校、現、上野高校）、第四中学校（後に宇治山田中学校、現、宇治山田高校）です。これより高田学苑の歴史は飛び抜けて古き良き伝統を保っています。

もらえるよう、再三、地主さんをお願いしていたものですが、この度うれしいことに、地主さん達が揃って売ることに同意をしていただき、坪五万円、約五億円で購入することができました。

早速グラウンド造成整備、施工に係る入札を行った結果、(株)鴻池組が落札し、同社に発注いたしました。昨年四月一日着工、完成は本年九月三十日として契約いたしました。今秋、体育祭は新グラウンドで開催します。

このような素晴らしい教育環境のもと、子どもたちは一層勉学、クラブ活動に精進し、文武両道にわたり好成績を修めてくれるものと期待しております。ご開山親鸞聖人七五〇回遠忌報恩

貫練校、真宗勸学院の時代を経て私立高田中学校、高田専門学校と改称し、戦後の学制改革により新制の高田中学校、新制の高田高等学校（昭和二三年、全国一斉に旧制中学校、高等女学校が新制の高等学校に移行される）高田専門学校は昭和二九年に廃止。昭和三九年に高田中学校・高等学校が一貫教育の六年制コースを設置。昭和四一年に高田短期大学が開設され、発展拡充され現在に至っている。

古い歴史と輝かしい伝統を有した高田学苑は、短大、中・高校の校舎増築・改築工事を毎年、継続し昨年十一月に中・高校の校舎竣工式が挙行されました。耐震性の高い構造による安全性が構築され、素晴らしいデザイン、施設設備の充実と併せて居住性に優れた校舎が整備されました。

大法会の前に本校を立派に一新することができたことは感慨無量であります。是非一度、母校を訪ね、新校舎、



高田中・高等学校 正門



高田中・高等学校新グラウンド
平成21年 9月完成予定

グラウンドをご覧頂きたいです。皆様のご来校を心よりお待ちしております。

今年秋には、陸上競技場、サッカー場、硬式野球場、馬術競技場を設置し万全の排水装置、緑化事業も整備されて新しいグラウンドが完成される予定です。文武両道の教育が、より一層、具現され、新たな伝統が積み重ねられることを期待いたします。先生方のご熱心なご指導に感謝いたしますとともに、同窓会には大切な後輩の学生生徒の皆様への心から祈念いたします。同窓会には会員相互の親睦、連携を図り、母校への支援を目標として活動しますので今後ともご理解ご協力をお願いいたします。八月二日(日)の総会・懇親会には大勢の皆様が参加されますよう新しい内容を企画し実行いたしますので、お誘い合わせて出席いただきませうようお願い申し上げます。



ご挨拶

中高校長
高 臣 文 祥

昨年度後半から、百年に一度の経済不況が世界中に波及し、我が国も大変困難な状況に直面しております。樹心同窓会の皆様にはお変わりなく益々お元気で活躍のことと推察致します。

高田中・高等学校の現況を報告いたします。

まず、施設に関しまして、足掛四年に渡りました校舎建設事業も無事に終了し、昨年十一月一日に多くの



の益々々々
の期し
の展を
の発

短大 学 長
栗 原 廣 海

樹心同窓会会員の皆様にはますますご健にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年掲載していただきました就任のご挨拶の中で、高田短期大学は仏教精神に基づき、「広い視野をもったおおらかで柔軟（にゆうなん）な思いやりのある心」を育てることを教育の理念にしている旨、申し上げました。この理念は不変ですが、本年度からは「柔軟心」の語調をやわらげ、「やわらか心」と表現して、「やわらか心の社会人の育成」を教育の理念に掲げることになりました。阿弥陀仏の誓願である四十八願の第三十三番目の願は「身心柔軟の願」

関係各位のご出席のもとで竣工式を行いました。この間、会員の皆様には何かとご心配をおかけいたしました。また、昨年四月より本校西側に一万坪のグラウンドの造成に着手し、本年九月末には完成予定です。長年の夢が成就されることとなります。本年度の入学状況は、中学二二一名、高校三八〇名の新生を迎えることになりました。中学生六四〇名、高校生一七四九名となり全校生徒総数は二三八九名となりました。募集数として順調で、中学の受験者数は一五名、高校は三、一八九名、中高共に昨年度より多くの応募がありました。その中で高校の募集において、今日の経済状況や県立高校の前期選抜の拡大等、私学をとりまく

と名づけられ、「私が放つ光に包まれたものは、むさぼりやいかりや、愚かさの三毒の煩惱が消えて、身や心がやわらかくようにしよう」と誓われています。この誓いを確かに受け、聖人への尊崇の思いを大事にして、「やわらか心」を身につけた保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを育成すべく、日々努力しているところでです。

さて、少子化の進行に伴い、一部の大学を除いて多くの大学・短期大学は学生確保に苦労しています。とりわけ短期大学は全国的に大変厳しい状況にある中、本学では、子ども学科とオフィス情報学科に定員を超える新生を迎えることができました。人間介護福祉学科は残念ながら定員を満たすことはできませんでしたが、今年も念願であった、中国内蒙古自治区からの留学生八名を迎えることができました。

環境は一段と厳しさを増しています。こうした状況の下で進学実績を高める努力はいままでもなく、本校の歴史と伝統をふまえた人間教育の一層の充実が求められると思います。進学状況については、進路指導部から詳しく報告いたします。三年制では二七名が国公立大学に合格いたしました。本年度から発足したⅡ類数理コースの展開をはかることにより、さらに実績を高めたと思います。六年制では東京大学合格者が五名と少し淋しい印象を与えますが、京大一七名、国公立医学部三三名、京都大医四名、大阪大医四名、名古屋大医六名、三重大医一五名など）を始めて、いわゆる難関大学への合格者数は例年通り順調でありまし

流協会の皆さんの、日蒙両国の文化交流への熱い思いと、交流促進へのためまぬご尽力のたまものと、心より御礼申し上げます。他にも、中国人の留学生三名がオフィス情報学科に、一名が人間介護福祉学科に入学しています。学生諸君は互いに積極的な交流を図り、親善を深めるとともに、異文化の交流をとおして、国際的な感覚を身につける絶好の機会としていただければと願っています。

介護職は、現在、専門職としての地位が社会的に確立しているとは言いがたく、また給与も決して職の内実に見合ったものとはなっていないなど、高齢化が進むにもかかわらず、介護を取り巻く環境は、根本的な多くの課題を抱えています。このような中、厚生労働省は、介護に携わる人を増員するための様々な政策打ち出してきています。そのうちのひとつが「社会福祉士及び介護福祉士修学資金貸与事業」です。入学時と就

た。とはいえ、東大合格者数が社会へ与えるインパクトは大きく、生徒の関心や方向性等に細心の注意を払いつながりより綿密な進路指導を行っていく所存です。

部活動につきまして、中学で多くの生徒が学習と部活動の両立をはかっています。充実した学校生活を送っております。高校では、三年制の生徒と六年制の生徒が共に協力して部活し、実績をあげていることは、本校の最大の特色でありこれまで積み上げてきた経験の上に成り立っていることでもあります。詳しくは生徒会より報告いたしますが、高校男子卓球部が三年連続で団体、ダブルス、個人の完全制覇を成し遂げて県代表となり、全国大会に出場することは快挙であ

職時に準備金としてそれぞれ二十万円を、また二年間の就学中は毎月五万円を貸与する。しかも、卒業後県内の介護施設に五年間勤務すれば、返還は全額免除されるといっても過言です。三重県には本年・来年とも六十名程の学生に適用されるとのことです。本学への適用は最大十名ということになりました。この制度と、本年創設した本学独自の奨学金制度を併用し、来年度の人間介護福祉学科の学生募集を是非とも成功に結びつけたと考えています。

大学経営の厳しい時代において大学の発展を期するためには、学生に満足感をもって卒業してもらい、卒業後も、「〇〇大学を卒業してよかった」と言ってもらえるような大学にすることが何よりも大切であると言われています。本学も、より多くの卒業生に「高田短期大学を卒業してよかった」と言ってもらえるような大学を目指して、エンロールメント・マネジメ

ると喜んでおります。

今、日本の教育現場への競争原理や成果主義の導入が顕著に見られます。私は、この傾向が教育に適切なものか否かに疑問を感じています。今こそ本校では、人間性の涵養を第一義とし、伸び伸びとした、それこそ「ゆとりある」教育を実現していくことが肝要であると思っております。全教職員一丸となって邁進して参りますので、諸先輩方一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

ントの体制を整えました。エンロールメント・マネジメントというのは、マーケティング活動を通して、学生募集活動をはじめ、カリキュラム等の教育プログラムを不断に改善することによって、学生の入学前から卒業後までを総合的に支援することにより、学生満足度を向上して、将来の学生募集に結びつけようとする大学全体の統一の取り組みです。

内容は、教育の理念を内外に宣言・広報し、理念に共感し、アドミッシェン・ポリシーに合致した学生を獲得するエントランス・マネジメント、入学生に対して、教育理念に基づいたカリキュラム・ポリシーにより、全学が一丸となって教育に当たるエデュケーション・マネジメント、理念を身につけ、社会に貢献する、ディプロマ・ポリシーに合致した学生の輩出を目指す、キャリア・ディベロップメントから成ります。

このようなマネジメント実践のた

めに、広報入試課・学務課・学生支援センターの教学部門を統括する教務部を設置し、教学部長職を設けました。これにより、エンロールメント・マネジメント、つまりトータルな学生支援を行い、本学の更なる発展を期しているのです。

次にお知らせしたいのは、本年度から、念願であったスクールバス導入を果たすことができたことです。ご存じのように、本学は路線バスのバス停からかなり距離があり、また通学路が狭いこと、夜道が暗いことなど、安全面からもスクールバスの導入が望まれていました。昨年十月から半年間の試行の結果、バス二台を購入し、学苑に元々あった一台とともに、計三台で運行しています。学生の評判は上々で、現在約百八十名の学生が利用しています。この導

入は昨年よりPRしていただきましたので募集に役立ったのはもちろん、来年度の学生募集にも確かな手応えを得ています。

以上のように、一歩前進して高田短期大学の平成二十一年度がスタートしましたが、まだまだ課題を多く抱えています。本年度は、

- ・ 仏教行事等の単位化
- ・ 教員評価・職員評価の実施
- ・ 教員免許更新講習の実施

について、来年度からの施行を期して現在検討を重ねています。

樹心同窓会会員の皆様には、本学への益々のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成20年度高田学苑樹心同窓会決算報告書

収支決算書 (H20. 4. 1~H21. 3. 31)

(円)

項 目	金 額
収入の部	
前年度繰越金	3,880,551
株式配当金 (中部電力)	452,818
株式配当金 (みずほフィナンシャルグループ)	8,190
総会会費	48,000
同窓会入会金 (高校)	2,114,000
同窓会入会金 (短大)	749,000
雑収入	22,756
預金利子	4,178
収 入 合 計	7,279,493

支出の部	
総会費	380,651
役員会費	121,000
会報印刷費	213,415
会報発送費	209,212
通信費	18,140
慶弔費	25,200
卒業記念品費 (高校)	247,380
卒業記念品費 (短大)	91,098
同窓教職員歓送迎会補助金	200,000
備品 (パソコン・レーザープリンター)	228,900
名簿管理システム費用	630,000
事務消耗品	89,635
定期預金へ	1,500,000
支 出 合 計	3,954,631

収支差額次期繰越	3,324,862
-----------------	------------------

財産目録 (H21. 3. 31現在)

(円)

項 目	金 額
基本財産	
百五銀行定期預金	1,500,000
百五銀行定期預金	2,005,600
百五銀行定期預金	1,409,200
	株券単価 時 価
中部電力 8,100株 (日興コーディアル証券)	2,170 17,577,000
中部電力 15株 (三菱UFJ信託銀行)	2,170 32,550
みずほフィナンシャルグループ 3,000株 (日興コーディアル証券)	188 564,000
みずほフィナンシャルグループ 910株 (みずほ信託銀行)	188 171,080

新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことば

中・高等学校

- 一、水野 裕之
- 二、地歴公民、中学社会
- 三、水泳部
- 四、映画鑑賞、楽器演奏
- 五、本年度より歴史と伝統のある高田学苑でお世話になる事ができ、大変嬉しく感謝しております。着任して早二ヶ月が過ぎ、生徒

達の明るい笑顔と先生方の暖かい御指導に励まされ、少しずつ学校の様子が見えてまいりました。

社会科教員として、諸先輩方に習い、社会の楽しさを伝え、レベルの高い授業を展開するため、心機一転、一から学び直しているところです。

不器用な性格ゆえ、ご心配をかけることもあろうかと思いますが、学苑の発展の為に精一杯頑張りたいと思います。今後とも御指導のほど、よろしくお願い致します。

- 一、松生 大明
- 二、公民、情報
- 三、高校卓球部
- 四、スポーツ観戦、運動、卓球

五、本年度より母校である本学苑でお世話になることができ、大変嬉しく思っています。

着任して早二ヶ月が過ぎ、教科指導・部活動など、試行錯誤を繰り返す日々を送っています。生徒の人間の成長の手助けをすることも、自分自身の成長にも努めていきたいと思っています。

まだまだ至らない点も多く、何かとご迷惑をお掛けする事も多いと思いますが、本学苑のために精一杯頑張ります。一日でも早く先輩の諸先生方に近づけるよう努力していきたいと思っております。今後とも御指導の程、よろしく申し上げます。

- 一、堀 元宣
- 二、理科
- 三、天文部、ハンドボール部
- 四、スポーツ観戦

五、本年度より、歴史と伝統のある高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく感謝しております。

高田学苑で教鞭を執らせていただいたのは、祖父、父、そして私で三代目となり身の引き締まる思いでいっぱいです。

着任して約二ヶ月、不慣れなことも多くありますが、家庭的な雰囲気のおかげで、多くの先生方から温かいご指導をいただき感謝しております。

しばらく教壇を離れていましたが、再びこのような機会を与えていただき、心機一転、教育を志した日の情熱と謙虚さをもって、生徒を教え論じたいと思っております。

微力ながら、学苑のお役に立てるよう精一杯つとめさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- 一、樋口 勝太
- 二、保健体育
- 三、剣道部
- 四、スポーツ、買い物、剣道、読書
- 五、今年度より、母校である高田学苑で教鞭をとらせていただくことになり、大変嬉しく思い、感謝いたしております。

在学中にお世話になりました先生方と同じ教壇に立たせて頂き身の引き締まる思いです。まだまだ力が及ばず、至らない点ばかりではありますが、日々勉強の精神で何事にも前向きに取り組んでおります。

幼少より剣道で培った強い気持ちと行動力を活かし、生徒と学苑のために日々精進してまいりますので、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

- 一、前川 伸一

二、保健体育
 三、なし
 四、スポーツ観戦
 五、本年度から母校である高田学苑でお世話になることになり、大変光栄に思っています。前職の公立学校と大きく違う雰囲気にも多少戸惑っています。久しぶりに教壇へ立たせていただきますので諸先輩や先生方が築きあげてこられた伝統に傷をつけないよう、今までの経験に頼らず、心機一転、精一杯頑張りたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

一、久世 英明
 二、事務部庶務課
 三、なし
 四、ドライブ、旅行
 五、本年度から母校である高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく、また光栄に思っております。

今まで勤務していた民間企業とは全く違う雰囲気には最初は戸惑いの連続でしたが、周囲の方々の温かいご助力により、ようやく仕事にも慣れてきました。

まだまだ至らない点が多々ありますが、今後とも御指導のほど、よろしくお願ひ致します。

行動したいと思ひます。着任して数ヶ月、まだまだ至らぬ点ばかりですが、諸先生方の御指導を真摯にうけとめ日々成長していきたいと思ひます。これから精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

一、小田 義隆
 二、教育原理、教育制度論、保育原理
 三、高短モデルリング部(予定)
 四、読書・史跡巡り・温泉
 五、本年度より高田短期大学子ども学科に着任し、三重県における伝統ある保育者養成に携わることが出来ることを心から感謝しております。

前任校では、九州・豊後日田の私塾成宜園の創立者・広瀬淡窓の教育理念「師弟の和熟による人間形成」を目指し教育・研究を進めました。学生とともに、多くの貴重な体験をさせていただき、共に成長することが出来ました。九州での経験を活かしつつも、本学ではさらに、『やわらか心』の社会人の育成を目指し、自己の研鑽を積み学生に還元できればと思っております。

また、本学苑教職員の方々が築いてこられた、三重県における輝かしい歴史と伝統に傷をつけないよう教育・研究・社会貢献に励みたいと思ひますので、ご指導ご鞭撻のほどお願ひします。

一、上村 晶
 二、教育保育実習研究、教育実習・保育実習・幼児教育者論・総合演習
 三、なし

四、旅行・音楽観賞・スポーツ
 五、本年度四月より、伝統ある高田短期大学子ども学科で保育者養成に携わることになり、大変嬉しく思っております。

昨今子育てに対する価値観や環境が多様化し、保育者の専門性が更に求められるようになりました。よって、未来の保育者である学生に、自分自身のかかわり方を省察することや子どもの思いを感じ取ることの重要性を伝えていきたいと考えております。

未熟ではございますが、諸先生方のお姿に学びながら、学生支援に力を注ぎたいと思ひます。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い、よろしくお願ひ申し上げます。

一、澤井 光次
 二、事務局キャリア支援室
 三、なし
 四、釣り、囲碁
 五、母校である本学苑にお世話になることができ、大変嬉しく思っております。

四月からの数ヶ月間、高田短大生のキャンパスライフと共に過ごす中で、学内が明るさと活気に満ち溢れていると感じました。

発展し続ける本学の充実した学習環境を基に、力強く社会に羽ばたく人材の育成のため、キャリア形成等、学生支援に精一杯努めたく存じます。ご指導、ご協力をよろしくお願ひいたします。

とになり、たいへん嬉しく感謝しております。

着任して早くも二ヶ月が過ぎました。まだまだ学ぶことが多く、自分の未熟さを痛感する毎日ですが、教職員の皆様の優しい言葉に救われています。

若輩者ではありますが、皆様の優しさと自分にかかれた期待に一日でも早く応えられるよう精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

一、小坂 奈央
 二、事務局総務課
 三、なし
 四、スポーツ観戦
 五、本年四月より高田短期大学総務課でお世話になることになりました。

三月に本学の人間介護福祉学科を卒業し、学生ではなく社会人という新しい気持ちで日々通っております。

職員という立場になり、私たちの学生生活は、たくさんの方の支えによって成り立っているのだと実感し、感謝する毎日です。

まだまだ未熟で至らない点も多々ありますが、お世話になった本学のお役に立てるよう努力して参りたいと考えておりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願ひ致します。

一、川村みや子
 二、育児文化研究センター事務
 三、なし
 四、映画・音楽鑑賞
 五、昨年度から、特色ある大学支援プログラム(特色GP)の事務として参加させていただき、出前講座をはじめ、子育て支援、特色GP事業等の行事に携わり、たくさんのお話を学ばせていただきました。

本年度より、高田短期大学育児

平成21年度
高田学苑樹心同窓会総会
 平成21年8月2日(日) AM10:00~

○追 弔 会
 ○総 設 説 明
 ○施 設 説 明
 ○ミニコンサート
 ○懇 親 会

高田高校本館講堂 (5F)
 同上
 新校舎、新グラウンド
 あべ 静江 (高校S46年卒)
 学生ホール

※会費、1,000円当日本館1F受付で頂きます。
 ※お車でお越しの方は(職員駐車場、本山駐車場、慈光院跡地)駐車場をご利用ください。

文化研究センター事務としてお世話になることになりました。まだまだわからないことばかりですが、センターの窓口としてみなさまのお役にたてるよう、微力ではありますが精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

一、中川 千代

二、基礎生活支援技術、コミュニケーション技術、介護過程演習、介護実習指導

三、なし

四、音楽鑑賞、バレーボール

五、この度、歴史と伝統のある高田学苑の人間介護福祉学科に着任し、介護福祉士養成に携われることになり、とても感謝しています。超高齢社会に突入している今、介護ニーズは高まり社会から質の高い人材が求められている反面、介護福祉分野を目指す若者の減少が懸念されているのが承知のことと思います。自分だけの生活が豊かになることを目指すのではなく、介護を通してお互いに支えあい助け合う生活を送ることの素晴らしさ、尊さを伝えたい。誇りを持って介護福祉に関わり続けていける人材がひとりでも多く育ってくれるよう微力ながらお役に立ちたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

一、高木 直人

二、秘書学、社会体験学習

三、旅行サークル Kofite

四、釣り、青春18切符旅行

五、本年度より、学校法人高田学苑

高田短期大学 オフィス情報学科に、お世話になることができ大変喜んでいきます。

高田短期大学で学ぶ学生の将来の夢を、少しでも実現できますように、微力ながらお役に立てるよう努めたいと考えております。また、学校行事にも積極的に参加し、学生のみならず充実した短大生活を送りたいと思っております。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願いたします。

一、杉浦 礼子

二、現代の日本経済、経営学、マーケティング論、ビジネス実務論など

三、なし

四、温泉巡り、旅行

五、本年四月からオフィス情報学科でお世話になっております。昨年度末までは、地元銀行のシクタンクで勤務し、地域振興に関する調査研究のほか、人材育成・開発業務を担当しておりました。今までの経験を活かして、地域に求められる人材を本学から多数輩出できるように努めて参りたいと思っております。

教育現場での勤務は初めてで、わからないことばかりの私を、多くの方が支えてくださり、着任して以後、感謝の日々を過ごしております。一日もはやく本学苑のことを正確に理解し、自らが本学苑に役立つ人材になりたいと願っておりますので、引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。

一、小池 はるか

二、教育心理学、発達心理学、子どもの心理学、保育内容、人間関係

三、なし

四、音楽鑑賞、旅行

五、昨年度9月に子ども学科に着任し、心理学系科目を担当させてい

ただいております。伝統ある高田短期大学で教鞭をとることができ、大変うれしく思っています。前職ではお子さんを継続的に調

進路指導

査する仕事に携わっておりますが、従来考えられている以上に、周りの大人のかかわり方が子ども

経験・知見を生かし、本学の保育者養成教育に貢献できるよう微力ながら努めてまいる所存です。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

進路指導部

平成二十年度生(平成二十一年三月卒業)は、三年制I類が一九七名、II類が二二三名、六年制が一八四名、計六〇四名でした。平成二十一年度入試の可否結果と就職決定先を既卒者も含めてコース別に報告致します。〔注〕学校名の後の()内の数字は人数です。()なしは一名となります。

●六年制コース

- 国立大学(105) 北海道大・筑波大・千葉大・東京大(5)・東京医科歯科大(2)・東京外国語大・東京学芸大・東京工業大・一橋大(5)・横浜国立大・金沢大(2)・山梨大・信州大(2)・静岡大・名古屋大(18)・名古屋工業大(2)・岐阜大・三重大(22)・京都大(17)・大阪大(11)・神戸大(3)・山口大(2)・徳島大・高知大・九州大・宮崎大
公立大学(13) 高崎経済大・首都大学東京・岐阜薬科大・愛知県立芸術大・名古屋市立大(8)・大阪府立大
文部科学省所管外(5) 防衛医科大学校(2)・気象大学校・防衛医科大学校・航空保安大学校
私立大学(41) 獨協大・青山学院大(2)・桜美林大・学習院大(3)・北里大(3)・慶応義塾大(41)・國學院大(3)・国際基督教大・実践女子大・芝浦工業大(2)・順天堂大(3)・上智大・成城大(2)・中央大(26)・津田塾大・東海大(2)・東京経済大・東京慈恵会医科大学(4)・東京女子大・東京女子医科大学・東京農業大(3)・東京薬科大・東京理科大(28)・東京大(2)・松本学舎大・日本大(4)・法政大(6)・明治大(18)・立教大(5)・早稲田大(55)・金沢医科大学(2)・北陸大・愛知大(3)・愛知学院大(2)・愛知医科大学(4)・愛知工業大(2)・愛知淑徳大・金城学院大(2)・中京大(3)・中部大・藤田保健衛生大(9)・南山大(10)・名城大(14)・皇學館大・鈴鹿医療科学大(2)・京都産業大(4)・東京女子大・東京薬科大(8)・同志社大(33)・同志社女子大・佛教大(2)・立命館大(44)・龍谷大(2)・大阪薬科大(3)・大阪医科大学(4)・関西大(9)・関西医科大学(3)・近畿大(10)・関西学院大(6)・神戸薬科大・産業医科大学(2)

●三年制コース

- 国立大学(22) 横浜国立大・富山大・静岡大・名古屋工業大・三重大(16)・大阪教

◆私立大学(402)

- 文教大(2)・千葉工業大・青山学院大・北里大・杏林大・国土館大・駒澤大・芝浦工業大(2)・専修大(2)・多摩美術大・帝京大・東海大(5)・東京経済大・東京女子大・東京農業大・東京福祉大・東京理科大(2)・東洋大(3)・日本大(3)・日本獣医生命科学大(2)・女子体育大(2)・日本体育大(2)・武蔵野美術大・明治大・明治学院大(2)・立正大・早稲田大・神奈川工科大(2)・産業能率大・フェリス女子学院大・金沢工業大(6)・岐阜医療科学大・聖隷クリストファー大・浜松大・静岡産業大・星城大(2)・名古屋学芸大・愛知工業大(5)・愛知学院大(25)・愛知工業大(3)・愛知淑徳大(8)・金城学院大(12)・相山女学院大(5)・大同工業大(5)・中京大(25)・中京女子大(2)・中部大(22)・同朋大(2)・名古屋音楽大・名古屋外国語大(5)・名古屋学院大(8)・名古屋経済大(2)・名古屋芸術大・名古屋商科大・名古屋女子大(8)・藤田保健衛生大・南山大(5)・日本福祉大(7)・名城大(27)・東海学園大(2)・桜花学園大・名古屋文理大・愛知工科大・愛知東邦大(4)・皇學館大(49)・鈴鹿医療科学大(26)・三重中京大(6)・四日

市大(3)・四日市看護医療大(5)・びわこ学院大・長浜バイオ大(2)・大阪保健医療大・大谷大(4)・京都外国語大(5)・京都産業大(17)・京都学園大・京都精華大・京都造形芸術大(2)・京都橘大(7)・同志社大(2)・同志社女子大・京都ノートルダム女子大(2)・佛教大(5)・花園大・立命館大(7)・龍谷大(5)・京都創成大・大阪経済大・大阪経済法科大(5)・大阪産業大・大阪樟蔭女子大・大阪薬科大・大阪大谷大・関西大(15)・関西外国語大(3)・近畿大(10)・相愛大・阪南大(3)・桃山学院大(4)・神戸学院大(3)・神戸国際大(2)・神戸常磐大・姫路獨協大・帝塚山大(4)・天理大(2)・吉備国際大・倉敷芸術科学大・徳島文理大

◆公立短期大学(9)
三重短期大(9)
◆私立短期大学(38)
実践女子短期大・日本体育大学女子短大・中日本自動車短期大・愛知工科大学短大・名古屋学芸大学短大(2)・愛知医療学院短期大学・名古屋短期大・鈴鹿短期大・高田短期大(18)・三重中央大学短大(2)・関西外国語大学短大(7)・武庫川女子大学短大(2)

◆国公立専修・各種学校(7)
名張市立看護専門学校・三重中央看護学校(6)
◆私立専修・各種学校(48)
コンピュータ総合学園HAL(2)・キャリエールホテル旅行専門学校・名古屋動物専門学校(2)・名古屋コミュニケーションアート専門学校(4)・名古屋ビューティーアート専門学校(2)・名古屋デザイン専門学校・名古屋ファッション専門学校・名古屋モード学園(2)・中

日本航空専門学校・大原簿記法律専門学校・トライデントデザイン専門学校(2)・トヨタ名古屋自動車大学校・甲賀看護専門学校・星城大学リハビリテーション学院・藤田保健衛生大学看護専門学校・三重県厚生連看護専門学校(3)・ユマニテック医療専門学校(7)・ユマニテック

中・高部活動

◆中学サッカー部
僕達サッカー部は現在、過去に先輩方が築いてきた三年連続県大会出場という伝統を終わらせないために日々朝と夕方の練習に励んでいます。僕も県大会には出場していませんが、地区大会とは心に残るもの、会場の活気が全く違い、なぜかワクワクして興奮が止まりませんでした。そんな舞台にもう一度立って、勝ちたいという気持ちは昨年の県大会二回戦で負けて以来一時も変わったことはありません。だからこそ大会時に最高のパフォーマンスが見せられるよう、毎日厳しい練習に取り組んでいます。

また、今年のチームはタイトルを取ったことがありません。春の中心連でも西郊中学校に1対2で敗退しました。スコア以上に内容が厳しいものでした。その時の悔しさを胸に夏の中心連へのリベンジに燃えています。その前にも別の大会を備えています。その大会でしっかりと勝つてチームの基盤を築き、より長く今の仲間と共に戦えるように夏に向けてチームを作っていくと考えています。

僕達はチーム一丸となり一つの目標に向かって走り続けています。やはり、その目標を達成するには日々の練習、練習試合、公式戦関係なく全ての今しなければならぬ目の前の事に全力を出し尽くす事が重要だと思っています。そうする事によって勝利はついてきます。

◆就職(8)
三重県警察・三重伊丹電機株式会社
護専門学校(3)・三重看護専門学校(5)・辻製菓専門学校・辻調理師専門学校・日本工学院八王子専門学校・大阪医療技術学園専門学校・大阪社会体育専門学校・関西医大付属看護専門学校

◆中学バレーボール部女子
県大会出場。目標にしていたものが叶った時は本当に嬉しかったです。私たちがバレー部のほとんどはみんな初心者から始めました。最初、バレーはもちろん、挨拶や礼儀など、できないことがたくさんありました。しかし、先輩が一つ一つ優しく教えてもらったので今ではすっかり身につきました。

一つずつ試合に勝っていくことができた時、自分たちがバレーが上手くなってきていることを実感できました。そして少しずつ強いチームに勝って嬉しかったです。それも、毎日指導してくださった先生方や、送り迎えをしてくれた両親のおかげです。とても感謝しています。

社・株式会社津松菱・中部電力株式会社・日本貨物鉄道株式会社・東海旅客鉄道株式会社・シャープ株式会社・株式会社ニュークイン
以上の結果でした。本校の卒業生が自己現実をめざしつつ社会のあらゆる分野に進出していく様がおわか

最後の大会まであと少し。今まで学んできたことを全て出しきりたいと思っています。今まで応援していただいた先生方や両親のためにも全力を尽くし、悔いのないようにプレーしたいです。

◆中学なぎなた部
昨年度は、夏に行われた全国少年武道錬成大会で、中学(女子)3年生個人部の部で3年生の奥田真奈佳さんが3位入賞するなど、実りの多い年となりました。創部以来、全国レベルでは、高校生が団体でベスト8、個人でベスト16、中学生も演技でベスト8、個人ベスト16、団体ベスト

りいただけると思います。六年制は理系、特に医療系の進学をめざす生徒が増えています。三年制においても同様の傾向が見られます。同窓の皆様、様々な場での母校への一層のご声援をよろしくお願い致します。

16が最高で、どうしてもベスト8のカベがこえられない状況でしたが、初めて表彰台に上がることができました。奥田選手は日頃から真面目にコツコツと努力を続けており、それが結果しました。中学生から競技をはじめた生徒が入賞する事は全国でも珍しい事で、後に続く後輩達にも希望と刺激を与えてくれました。本年は3年生2名、2年生3名、1年生5名の少人数での活動となりますが、先輩に追いつこうと、意欲をもって練習に臨んでいます。

☆この結果、丹羽・長友・湯川選手

平成20年度全日本少年武道錬成大会 (平成20年8月 日本武道館)	中3女子個人：奥田真奈佳	3位
平成20年度東海なぎなた選手権大会 (平成20年11月 富士常葉大学)	中学個人(男女混合)	：奥田真奈佳 2位 ：丹羽 智子 BEST 8
第23回三重なぎなた選手権大会 (平成21年4月 三重県武道館)	中学個人(男女混合)	：丹羽 智子 1位 ：駒田華奈子 2位
中学演技	長友あゆみ・湯川 実咲	組 2位

■中・高剣道部

4月より、本校で6年間剣道部に所属し活躍された、樋口勝太先生を迎え、より一層気持を引き締めて日々稽古に励んでいます。

今年のインターハイ予選は、男女共に、5位という残念な結果に終わりました。個人戦・団体戦共に、一本に泣いた試合がほとんどで、勝負は一瞬であることを実感させられました。緊迫した雰囲気の中で、自分の剣道をするためには、やはり日々稽古をやり続ける以外には方法はありません。悔しく、やり場のない気持ちを持ち替えて、来年度のインターハイ予選に向けて稽古に励みたいと思っています。また、剣道は『正々堂々』でなければなりません。普段からその精神を忘れず、偽りのない生活を心がけていきたいと思えます。

■中・高柔道部

現在、部員は高校6年生男子1人、女子1人、Ⅲ年生男子4人、女子2人、5年生男子2人、Ⅱ年生男子1人、女子1人、4年生男子6人、女子1人、1年生男子2人、中学校3年生男子1人、2年生男子1人の中高男女合わせて23人で活動しています。

文武両道はさることながら「一生懸命」「辛抱」をテーマに部員一同、力を合わせて頑張っています。最近の試合での戦績は、高校では県総体の男子個人73kg以下級で5年生福井将仁君、100kg以下級でⅢ年生の無藤大也君がベスト8に入賞。女子団体ベスト8。という成績です。中学校では春季県大で男子個人81kg以下級で3年生の水谷昂栄君が3位入賞という成績です。

徐々に大会等での入賞も増えてきて部員もやる気が出てきていますのでこれからも良い成績を出し、本校の名をもっと広められるよう頑張つて進みたいと思えますのでよろしくお願いたします。

■高校野球部

私たち野球部は3年生17人、2年生17人、1年生19人、マネージャー5人、計58人で、先生方の熱心なご指導の下毎日活動しています。春と秋、悔しい思いもしましたが、その悔しさを決して忘れることなく限られた時間の中で、内容の濃い練習をしています。

点を取られ始めると声が出なくなり余計に雰囲気が悪くなる、そして主将を中心とする3年生が盛り上げ直す、そのようなチームです。しかし、一人一人が「自分の役割」をしっかり考え、自分でできることを一生懸命やろうとすることで、声の絶えないチームへと変わりつつあります。

これまで故障して辛い思いをしたり、納得のいくプレーができず落ち込んでしまう者もいましたが、両親や先生、OBの方々、そして仲間を支えられたことにとても感謝しています。常に向上心をもつこと、感謝の気持ちをもつこと。この二つが特に大切であると考えています。

また、9月には新しいグラウンドの完成予定というところで、広々としたグラウンドで野球ができることを楽しみにしています。まずは夏、心一つにし一戦一戦全力で戦いたいと思っています。これからも応援をよろしくお願いたします。

■高校ハンドボール部

男子8人、女子5人の新入生が入部し、現在ハンドボール部は、合計男子21人、女子15人で活動しています。昨年度より大会日程が大きく変更になり、11月に新入大会、1月に選抜大会の予選が行われるようになりました。昨年度1月に行われた選抜大会では、男子は、一回戦名張桔梗が丘高校と対戦し、敗れました。女子は一回戦川越高校に敗れました。

先日行われた三重県高校総合体育大会では、男子は、一回戦川越高校と対戦し、前半は接戦でしたが、後半に差がつき敗れました。女子は、一回戦四日市南高校に敗退しました。今は2年生が主体となり、新しいチームで意気込みも高まっているところ です。

■高校硬式テニス部

本年度もヤシマカップという一年間を通して行われるリーグ戦に参加しており、一勝でも多くできるように頑張つていきたいと思えます。卒業生の皆様、もし時間を作つていただくことができましたら、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただきしたいと思います。

秋には新グラウンドの隣りにハードのテニスコートが完成予定です。一同楽しみにしております。新しいコートで、心機一転、頑張りたいと思えます。

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。現在部員は3年生3人、2年生2人、1年生11人となつています。今年も、今まで以上に多くの1年生が入部することになりました。団体戦出場のためには1年生部員の力が必要となるため、お互いに切磋琢磨し、成長してくれることを期待しています。

■高校新体操部

新体操競技は、個人競技なら1分30秒、団体競技なら3分という時間の中で行われます。この短い時間の中で、今までの練習の成果を全て出さなければなりません。当然ながら、競技は一回きりですので、たった一つのミスが暗闇を分けることとなります。従つて、技術や体力も大事ですが、ここぞという時の集中力や緊張感に打ち勝つ精神力を磨くことに重点を置き、練習をしています。

本年度の主たる大会といたしましては、6月に三重県で行われる東海高校総体、8月に和歌山県で行われる全国高校総体があります。8月の全国高校総体には、3年生の木村威一朗くんが出場します。木村くんは二年連続での出場となるため、去年の経験を糧にして好成績をおさめてくれると信じています。

また、9月8日から13日までの6日間、三重県営サンアリーナ(伊勢市)において、09年第29回世界新体操選手権が行われます。女子新体操競技の世界一を決める大会です。極限にまで鍛えられた超一流の選手たちが演技をします。興味のある方はぜひ見に来てください。

さて、本年度より男子の新体操競技が国体の種目から外れることとなりました。近年、テレビでも取り上げられるなど注目されていただけに残念です。数年後に復活することを信じ、普及・練習に励んでいきたいと思えます。最後になりますが、新体操部OBの皆様の心温かな応援ありがとうございました。先にも述べましたが、今年度は県営サンアリーナ(伊勢市)において東海高校総体が行われます。お時間がありましたら、是非、足を運んでいただき選手たちの成長を見ていただきたいと思います。

■高校仏青インターアクト部

高田高校、仏青インターアクト部は3年生10人、2年生10人、1年生8人の計28人の部員がいます。週三回、ミーティングを行っており、今後催される活動に参加するメンバーを決めたり、実際に行つた活動の報告や反省点を話し合つたりしています。

入学式や卒業式などの学校行事や宗祖降誕会、毎月一度は行われる本山参詣など、仏教行事がある日は準備のお手伝いをします。郊外での活動としては、津駅前などでの募金活動や寺内町の清掃、一身田の花の水やりなどを行っています。

■夏休みに、小学生を対象とした「歴史まるごと体験塾」の合宿にも参加し、子供達と自分達が一身田町の歴史の建物や史跡を巡つたり、こんなに楽しく作りを体験したり、事前に考えたレクリエーションなどを一緒に楽しん

本年度もヤシマカップという一年間を通して行われるリーグ戦に参加しており、一勝でも多くできるように頑張つていきたいと思えます。卒業生の皆様、もし時間を作つていただくことができましたら、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただききたいと思います。

本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。現在部員は3年生3人、2年生2人、1年生11人となつています。今年も、今まで以上に多くの1年生が入部することになりました。団体戦出場のためには1年生部員の力が必要となるため、お互いに切磋琢磨し、成長してくれることを期待しています。

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。現在部員は3年生3人、2年生2人、1年生11人となつています。今年も、今まで以上に多くの1年生が入部することになりました。団体戦出場のためには1年生部員の力が必要となるため、お互いに切磋琢磨し、成長してくれることを期待しています。

■高校仏青インターアクト部

高田高校、仏青インターアクト部は3年生10人、2年生10人、1年生8人の計28人の部員がいます。週三回、ミーティングを行っており、今後催される活動に参加するメンバーを決めたり、実際に行つた活動の報告や反省点を話し合つたりしています。

入学式や卒業式などの学校行事や宗祖降誕会、毎月一度は行われる本山参詣など、仏教行事がある日は準備のお手伝いをします。郊外での活動としては、津駅前などでの募金活動や寺内町の清掃、一身田の花の水やりなどを行っています。

夏休みに、小学生を対象とした「歴史まるごと体験塾」の合宿にも参加し、子供達と自分達が一身田町の歴史の建物や史跡を巡つたり、こんなに楽しく作りを体験したり、事前に考えたレクリエーションなどを一緒に楽しん

本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。現在部員は3年生3人、2年生2人、1年生11人となつています。今年も、今まで以上に多くの1年生が入部することになりました。団体戦出場のためには1年生部員の力が必要となるため、お互いに切磋琢磨し、成長してくれることを期待しています。

だりしました。比叡山林間学校の合宿でも高田の中学1年生の子供達とお寺や資料館で調べ学習をしたりして、大変な面もありましたが、やりがいのある活動ができました。

仏青部は、仏教行事のボランティア活動をする事が主ですが、普段では体験できない事をさせていたたく事により、自分自身の視野を広め、何事にも責任感を持ち、豊かな心を持って活動することを目指しています。

■高校バスケットボール部

私は2年生女子部員二人のうちの一人です。女子は他に1年生女子部員が三人、マネージャー一人の計六人、男子は2年生五人、1年生六人の計十一人で日々練習しています。人数は少ないけれど、1年生とはよい上下関係を保ちながら仲良く、楽しくやっています。そして、先生方のご指導もとても丁寧してくださいます。

練習は月曜日から日曜日まで体育館でしています。水曜日は学校の周りを走ったり、近くの神社に行つて体力づくりを励んでいます。神社の階段は百五段あり、とてもハードです。でも、皆で励まし合いチームワークを深めています。これから夏にかけて走ったり、体力づくりの練習が増えると思います。でも、夏の暑さに負けないで強くなっていきたいと思っています。そして、夏休み明けの大会ではよい成績が修められるようにしたいです。ただ、希望としては一人でも多くの部員が増えてくれれば嬉しいですね。(2年生 星山真璃)

■高校なぎなた部

現在、3年3名、2年5名、1年5名で活動している。自主的にそして自立的にをモットーにして日々稽古に励んでいます。12名の大所帯で

第59回三重県高等学校総合体育大会 東海大会・全国大会出場一覧表
平成21年 5月29日(金)～31(日)

部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	東 海	全 国		
卓 球 部	男子ダブルス	Ⅲ 4	酒井 佑人	1位	○	○		
		Ⅲ C	松生 直明	1位	○	○		
		Ⅲ C	松生 直明	4位	○	○		
		Ⅲ 4	酒井 佑人	5位	○	○		
	男子シングル	Ⅱ 1	戸上 雄貴	5位	○	○		
		Ⅰ B	宇仁田 雅雄	6位	○	○		
		Ⅲ D	大野 志郎	8位	○	○		
	女子ダブルス	6 d	高藤 江美子	3位	○	○		
		Ⅰ B	安川 奏子	4位	○	○		
	女子シングルス	6 d	高藤 江美子	4位	○	○		
	男子団体	男子団体	Ⅲ C	松生 直明	1位	○	○	
			Ⅲ 4	酒井 佑人				
			Ⅲ 1	高塚 洋向				
			Ⅲ D	大野 志郎				
			Ⅲ 1	杉本 翔平				
Ⅲ A			駒田 一真					
Ⅱ 1			戸上 雄貴					
Ⅱ D			東 構 宥樹					
Ⅱ E			森谷 僚太					
Ⅰ B			宇仁田 雅雄					
陸上競技部			八種競技	6 d	伊藤 芳彰	2位	○	
				6 d	鳴神 温子	3位	○	
	6 b	松林 藍那		3位	○			
	6 b	松林 藍那		3位	○			
	5 d	仲谷 彩		6位	○			
	6 d	鳴神 温子		7位	○			
	4 e	奥田真奈佳		8位	○			
	6 b	松林 藍那						
なぎなた部	個人	6 d	鳴神 温子					
		6 d	松林 藍那					
		6 d	松林 藍那					
		6 d	鳴神 温子					
		6 d	松林 藍那					
		6 d	松林 藍那					
		6 d	松林 藍那					
		6 d	松林 藍那					
新体操部	個人	Ⅲ 3	木村 威一郎	1位	○	○		
		Ⅲ D	田端 淳史	2位	○	○		
		団体	Ⅲ 3	堀口 和希				
			Ⅲ A	村林 祥子				
			Ⅲ A	北村 多真美				
			5 e	永野 謙信				
			Ⅱ 3	小林 大祐				
			Ⅱ D	北田 莉沙				
Ⅲ 3	堀口 和希							
Ⅲ A	村林 祥子							

第43回全日本高等学校馬術選手権大会東海地区予選
平成21年 6月14日(日)

部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	全 国
馬 術 部	団 体	Ⅲ 3	堀口 和希	1位	○
		Ⅲ A	村林 祥子		
		Ⅲ A	北村 多真美		
		5 e	永野 謙信		
		Ⅱ 3	小林 大祐		
		Ⅱ D	北田 莉沙		

第20回全日本高等学校馬術選手権大会東海地区予選
平成21年 6月14日(日)

部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	全 国
馬 術 部	個 人	5 e	永野 謙信	1位	○
		Ⅲ 3	堀口 和希	8位	

あった3年生が卒業し、少し寂しくなった感はいなめませんが、先輩方が獲得した、東海総体の優勝旗を今年ももち帰れるようにを合い言葉に頑張っています。又、去年は個人1名がインターハイに出場しましたが、今年こそ団体でインターハイに出場し、入賞を目指したいと考えています。6年コースや2難の生徒が多く文武を両立させていく難しさはありますが、部員個々が、生活の色々な場面で自らを律していきけるようにしたいと考えています。又、このことが、卒業後にも大きな財産となることと思います。

又、今年も選抜大会が記念大会となり、その増枠分を配分する試合として東海総体が設定されており、今まで以上に重要な試合となります。これを勝ち、ぜひ選抜大会初出場を果たしたいと思っています。

〔主な戦績〕

- ・第55回東海高校総体なぎなた競技団体部 優勝
- ・平成20年度全国高校総体個人部 出場 野辺里絵

平成20年度国民体育大会東海ブロック予選
優勝 三重(野辺・松林藍那)

平成20年度国民体育大会
三重県代表 野辺 里絵

第17回県新人なぎなた大会
演技 3位(鳴神温子・松林組)

個人 3位 松林藍那
団体 2位

■高校俳句同好会

俳句同好会は、現在、3年生10名、1年生6名の16名で活動しています。文化祭での句集「轍」の発表を中心に、句を作り、句会をしてお互いの句の批評やディベートをしていく中で、日本語の美しい表現や意味の奥深さに感動しています。

今年も6年連続出場をしている、全国高校俳句選手権大会(松山俳句甲子園)への出場を目指し、句作りとディベートの練習に励んでいます。熱心に指導にあたってくださる先輩たちから受け継いだ、高田高校の俳句の精神を十分に発揮できるように頑張りたいと思います。

昨年から今年にかけて、全国の様々なコンクールで入賞した句を紹介します。

平成20年度「火の一句」佳作
落葉たき祖父の背中は丸くなり
品川由依

第7回えひめスポーツ俳句大賞
一般の部 入賞
比良八荒もう一引きす乙矢かな
井上大樹

ジュニアの部 入賞
初晴れやゴルフコースの道なき
岩野桃子

第11回神奈川大学全国高校生俳句大賞 入選
守備範囲やや不安あり案山子かな
三日月を破れ蜘蛛の巣捕らえたり
彼岸花葉に会えるのはいつの日か
森本泰地

■高校将棋同好会

全国高文祭に参加するにあたって
4C 久米 秀和

今年、第33回全国高等学校総合文化祭が三重県で開催され、将棋部門はか

つてプロの王位戦が行われた志摩市の賢島宝生苑が会場となっています。7月29日に前夜祭があり、30日に開会式と予選、31日には準決勝、決勝があり、個人戦決勝の大盤解説も行われます。当日、会場には、宝生苑での王位戦で対局された谷川浩司九段、今年三重県から高校生でプロ棋士になった澤田真吾四段を含む4人のプロ棋士がお見えになり、指導対局や大盤解説会などが行われます。

各県の予選を勝ち抜いた中学時代からのライバルが文部科学大臣杯ならびに日本将棋連盟からの優勝旗を目指す大会です。なかなか勝ち上がるのは難しいと思いますが、まずは予選突破を目指してがんばりたいと思います。

■高校バドミントン部

私たち高校バドミントン部は今年の四月に同好会から部に昇格させていただきました。男子25名、女子15名と部員数は多く、個人戦でも団体戦でも「県大会ベスト8」を目標として毎日の練習に励んでいます。顧問は齋藤先生と今年から加わら

れた佐久間先生の二人体制になり、今まで以上に厳しくしつかりとみていただいています。

普段は高田短大の体育館を借りて練習しています。部員は高校からバドミントンをはじめた者が多く、基礎的な練習から応用を利かせた練習まで幅広くおこなっています。体育館は毎日使わせていただけるわけではないので、それ以外の日には外周を走ったりトレーニングをしたりして基礎体力の向上を図っています。

今年の県総体では二部ではありませんが、45ペア出場しているなかで、II年生の溝口・西川ペアがベスト4に入り、高田高校バドミントン部では初めてとなる表彰を受けることができました。他にも女子一部の単複で3回戦まで進出するなど、着実に成長しています。

まだまだ未熟なクラブではあります。高田高校の名前を背負っていることを自覚し、他のクラブに負けないようにチーム一丸となって頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

■高校卓球部

平成21年度三重県高等学校総合体育大会卓球競技兼平成21年度全国高等学校総合体育大会兼東海総合体育大会三重県予選会は津市体育館で、4月29日(水) 男女ダブルス・5月3日(日)、4日(月) 男女シングルス・5月30日(土)、31日(日) 男女学校対抗が行われ、結果は、次の通りでした。

〔男子ダブルス〕

- 優勝 松生直明(Ⅲ―C)
- (2年連続) 酒井佑人(Ⅲ―4)
- (女子ダブルス)

- 第3位 高藤江美子(6―d)
- 安川奏子(Ⅰ―B)

〔男子シングルス〕

- 優勝 松生直明(Ⅲ―C)
- (3年連続)
- 第4位 酒井佑人(Ⅲ―4)
- 第5位 戸上雄貴(Ⅱ―1)
- 第6位 宇仁田雅雄(Ⅰ―B)
- 第8位 大野志郎(Ⅲ―D)
- (女子シングルス)
- 第4位 高藤江美子(6―d)

〔男子学校対抗〕

優勝 高田高校

男子学校対抗(高田高校) 男子シングルス(松生直明・酒井佑人組) 女子シングルス(高藤江美子)は、2009年・平成21年度全国高等学校総合体育大会(卓球競技)(近畿まほろば総体)・8月5日(水) 8月10日(月)・グリーアリーナ神戸(神戸市須磨区緑台) に出場し、全国上位入賞を目指します。

また、平成21年度東海総体は、6月20日(土)、21日(日) 三重県営競技場体育館で行われ、男子団体・男女シングルス(6名)・男女ダブルス(2組) が出場します。

■高校ソフトテニス部

ソフトテニス部は、現在女子15名、男子22名で、毎日元気に練習に励んでいます。

女子は、他校と比較しても決して多い人数ではありません。特に、今年度新たに1年生が入ってきてくれるまでは、2・3年生合わせて6人しかいませんでした。ですが、その分、チームにとって一人一人がとても大切な存在であり、お互いの事を心から思いやり、信頼し、支え合える関係が築けたのではないかと思います。

また、私たちは顧問の先生方や家族、友達、そしてもちろんチームメイトに支えられ、見守られて、そう

いう人たちがいるからこそテニスをやる事が出来るという事に気付く事が出来ました。

部活動は、ただソフトテニスをやる場所ではなく、感謝の気持ちや忍耐、謙虚な心、気配りをする事、そしてチームが一丸となつて一つの目標に向かって頑張ることのすばらしさを学べる所です。

他人を思いやる事が必ずしも優しく接するという事だけではなく、その人の為を思うからこそ、時には厳しく接する事が、自分にとつてもチームにとつても大切な事だと気付く事ができました。

私がこの三年間を通して経験してきた事は、決して無駄ではなく、この先何があつても私を支えてくれるものとなります。

■高校陸上競技部

皆様には益々々々健勝のこととお慶び申し上げます。

私たち陸上競技部は現在、男子27名、女子19名の46名で活動しております。

昨年の新チーム結成以降、県新人大会において13種目に入賞し、14名が東海新人大会に出場することができました。この結果をふまえ冬季練習で基礎体力の向上と課題の克服に重点を置き取り組んできました。その結果4月の国体一次選考会から自己記録を更新する選手が現れ、大学生もいる中で3名が入賞できました。

翌月の県高校春季大会でも、9種目に入賞することができ強い気持ちを持って県高校総体(東海高校総体予選会)に挑むことができました。

そして迎えた大会でしたが、自己新記録を連発しながらも、初日から0、1秒や2センチ差により8種目の入賞はするが東海大会への出場権が獲得できない流れになり「勝」こ

との難しさを痛感させられた悔しい大会になってしまいました。しかしながら、大会最終日の最後の種目で6年の伊藤君が8種競技で逆転の末、準優勝ができたことは本人の努力と本年度のチーム力の現れであったと確信しております。

3年生、6年生は東海総体で引退する選手が多いですが、1、2年生に力のある選手が残るため、秋の新人大会までに戦力を整え来年度の県高校総体では10種目の東海大会出場と2種目の沖縄県で開催される全国高校総体出場を必ず実現するために励んでいく所存であります。

最後になりましたが、昨年、陸上競技部OBより横断幕を寄贈いただきましたこと厚く御礼申し上げます。また横断幕にある「全力勝負」の言葉を胸に刻みながら努力して参ります。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願致します。

【戦績】

●平成21年度県高校春季大会

男子5000m競歩

第2位 Ⅱ年E組 種井覚道

第3位 Ⅱ年2組 塚本浩士

女子3000m競歩

第4位 Ⅱ年A組 川合麻友

第6位 Ⅱ年5組 東口佑圭理

女子円盤投

第6位 Ⅱ年A組 黒宮 渚

男子三段跳

第6位 Ⅲ年A組 水野裕斗

男子4×400mリレー

第7位 Ⅲ年4組 前田裕透

第7位 Ⅲ年4組 前田貴也

Ⅱ年4組 木村健人

Ⅱ年A組 中村慶太

Ⅰ年D組 小塚 優

男子1000m

第8位 6年e組 丹羽弥奈斗

男子400mハードル

第8位 Ⅱ年4組 木村健人

●平成21年度県高校総合体育大会

男子八種競技

第2位 6年d組 伊藤芳彰

第6位 4年a組 伊藤祐人

男子5000m競歩

第4位 Ⅱ年2組 塚本浩士

第6位 Ⅱ年E組 種井覚道

女子3000m競歩

第6位 Ⅱ年A組 川合麻友

第7位 Ⅱ年5組 東口佑圭理

女子円盤投

第8位 Ⅱ年A組 黒宮 渚

男子三段跳

第8位 Ⅲ年A組 水野裕斗

■高校水泳部

高校水泳部は、部員が45名と多い中、それぞれ工夫をして練習しています。6月末には三重県高等学校選手権があり、その大会を勝ち抜いて7月の東海大会、8月のインターハイに繋げていくことが最大の目標です。4月には、本校卒業生の若浪和希さんが、日本選手権400m自由形で3位に入賞するという快挙がありました。部員達は一步でも先輩に近づくように頑張っています。

■馬術部

昨年4月より中学馬術同好会が男子2名・女子3名で発足しました。途中、男女1名ずつ入部し、7名で1年間活動してきました。1名を除き、まったくの未経験者の者ばかりでしたが、日に日に上達し指導している方がびつくりするほどでした。なかでも上達の早い者は、昨年の9月には競技会に出場し高校生を抜いて優勝、入賞することができました。1年でこの成長です。2年後、そして高校生になってからも続けるとなるとかなり期待が持てます。彼らに

つづき、今年の1年生は、男子7名、女子5名の12名が入部しました。人数が増えた分、クラブ活動への集中力が散漫になると人馬ともにけがの元となります。

それぞれが責任感を持って、遊びではなく、クラブ活動であることを認識しなければなりません。

この中学馬術同好会といっしょに活動し、面倒を見ている高校馬術部は、Ⅲ年生 8名、Ⅱ年生 4名、Ⅰ年生 4名、4名の16名で休みなく、毎日活動しています。

馬は生き物です。毎日見ていなければ、異常がわかりません。いつもと違うと感じたときが体調不良であつたり、どこか体の痛みかもしれない。馬術部では馬に乗ることよりも手入れや世話に時間を多く費やします。これは他のスポーツと違いパートナーである馬とどれだけうまく接するかが重要であり、馬を愛し世話することにより、競技会において、それぞれの技術力で足りないものを馬自身が助けてくれます。

この休み無く毎日馬たちと接している馬術部にとって、今年は素晴らしい年となります。高田高等学校グラウンド整備事業により、馬術部の馬場、新厩舎が9月に完成し、創部47年の歴史ある馬場が新しく移転します。竹林に囲まれた静かな現在の馬場もたいへん落ち着くのですが、やはり新しい施設の方が良いもので、少しずつ建物が増えていくのを見て、たいへん待ち遠しく思う気持ちと、すばらしい施設に伴った全国大会での良い成績を残せるようしっかりと気を引き締める思いです。

今年も全国大会東海地区予選を突破し、静岡県で行われる本戦で上位をめざせるよう努力し、新しい馬場・厩舎の完成に合わせ、良いニュースをお知らせしたいです。

■高校バレーボール部

私達バレーボール部は、男子が3年生8人、2年生5人、1年生6人、

マナージャー2人の計21人、女子が3年生4人、2年生4人、1年生11人、マナージャー3人の計22人で活動しています。毎日顧問の先生方の熱心な御指導のもと、日々の練習や県内試合だけでなく、県外の強豪高校との交流試合も数多く行っています。バレーボールを通して、スポーツのおもしろ味、顧問の先生方との信頼関係、部員間のチームワークの大切さ、団体行動の難しさ、勝負へのこだわり、そして精神面等、非常に多くの貴重な経験をさせていただいていますが、それを乗り越えて、試合で結果を出せた時の喜び、達成感、あるいは出せなかった時の悔しさはこれからの受験勉強または社会に出ていくうえで、とても役に立つと思います。私達3年生は引退です。良き先生方、良き同級、良き後輩、良き保護者の方々、私達のバレーボール活動に関わっていただいた全ての人の支えのおかげでバレーボールができたことに感謝し、この気持ちをお忘れなく後輩たちにもこの感謝の気持ちや貴重な経験を伝えていきたいと思えます。これまで練習の中でOBやOGの方が来てくださったように、自分たちがこれからのような立場になるので、後輩の練習の手助けをしたり、または公式戦の時に応援に行ったりして少しでも後輩の役に立てれば良いなと考えています。このように活動ができてくるのもひとえに皆様方の応援があつてのことです。これからも応援よろしくお願いします。

■吹奏楽部

吹奏楽部は、1年生から3年生まで71名で活動しています。

5月31日、三重県総合文化センターで行われた、中勢地区高等学校吹奏楽演奏会「第13回フレンドシップコンサート・イン・ブラス」にて3年生は、引退。6月からは、1・2年生での活動となります。

今年度は、7月29日より、全国高等学校総合文化祭が三重県にて行われます。吹奏楽部門も、三重県総合文化センター大ホールにて、全国の高校生が、楽しい演奏を披露してくれそうです。本校吹奏楽部も、合同バンドの一員として参加します。普段は聴くことのできない、他県の高校の演奏を聴くことは、よい機会です。また、8月にはコンクールがあり、二つの行事が近いこともあり、練習をしていく事は、とても大変です。よい舞台、よい演奏になる様、毎日頑張っていきたいと思えます。ぜひ聴きにいらして下さい。

進路状況

就職活動に携わって



キャリア支援室

近年の高田短大卒業生は、子ども・人間介護福祉・オフィス情報系の各学課において、現代社会の要請に耐えられる専門知識・技術を備えた保育者・介護福祉士・オフィスワーカーを目指し、二年間の学習活動に努め、希望者の殆どがそれぞれ修得した専門性を活かした就職を実現しています。今年度は、世界的規模での経済不況の影響を受け、一月に1倍を割り込んだ

だ三重県内の有効求人倍率が、全国傾向と同様に、県内各地域を問わず低迷続きで、四月時点で0.41倍と過去最低となり、来春卒業予定の学生にとって厳しい雇用状況にあります。

当然のことながら、各企業が新卒者を採用する際には、業績の悪化・先行きの不透明さが課題となり、慎重さが窺われますが、このような厳しい経営環境においても、将来を担う若年者への期待は変わらず、能力のある人材を獲得し、社内で育成したいとの思いから、積極的な採用姿勢にも根強いものがあります。若年者を採用することで、職場に活力がでる、仕事を教えやすいこと等が他の年齢層に比較しての採用理由で、新卒予定の学生に企業が求めることは、責任感、マナー、一般常識、積極性、協調性、忍耐力、コミュニケーション力等です。

昨年度までの「進路課」から「キャリア支援室」に名称変更の当室では、学生の就職活動に係わる様々なサポートを日々行っています。

企業への就職希望の学生にとって、一年生の後半から早くも就職活動が始まる現状において、インターネット、携帯電話に慣れ親しんだ世代と言えども、人生における初めての経験である就職活動についての情報への対応は、戸惑いや不安も大きく、きめ細かな助言を必要としています。様々な求人情報は、学生個人への面談等によって、各自に適した形で資料提供が欠かせません。厳しい就職活動の現状ではありますが、就職先への求人開拓とともに、各学科の学習活動での指導との連携により、進路志望実現に努めます。更には、就職活動への取り組みを通して、各学生が自分の適性を探り、将来のイメージ化を図ることにより、

生涯に亘る主体的な自分の生き方を捉えるための環境を提供する機能を果たすことにも心掛けています。高田短大生のキャリア支援の充実と同窓生皆様方のご協力、ご支援をお願いいたします。

◎平成20年度卒業生の主な進路先
幼稚園24名 保育園109名 施設関係23名 建設業1名 製造業9名 電気ガス業4名 情報通信業4名 卸小売業11名 金融業4名 不動産業1名 教育学習支援1名 医療機関10名 サービス業13名

	卒業者	就業希望者数	職内者数	定数	四編	大等
子ども学	171	163	163			4
人間福祉学	23	18	18			2
情報科学	47	42	42			2
計	241	223	223			8
本学平均(%)		93	100			
県内平均(%)		76	98			

◆部会だより◆

北端 一子

朝、職員は当然ですが、登園してきた子ども達に、まず「手洗い」と「うがい」を勧めています。ある時、一歳児が「手手、バイキンがいっぱい」「そうだね、手を洗おうね」と言う「うん」と返事をしながら手を洗い始めました。「バイキンさんバイバイ」と流れていく水を見ながら手を振っていました。「手がきれいになって良かったね」と言いながら手を拭きました。小さな子ども達が、健康で元気に遊べるように、保健安全に気を付けての一日の生活が始まります。園では、「早ね早起き朝ごはん」

平成20年度退職教職員

- | | |
|-------------|------------|
| 家城 正典 (中・高) | 秋田 晶子 (短大) |
| 井口 謙爾 | 市田 敏之 |
| 伊藤みち子 | 植木 存 |
| 岡 眞勝 | 北島都和子 |
| 草深 克己 | 久保田郁夫 |
| 小菅 節美 | 倉田 充 |
| 西山 尚美 | 黒宮 英二 |
| 橋爪 俊明 | 手嶋 慎介 |
| 藤谷 知良 | 中湖 喬 |
| 村田 幸子 | 森 和子 |
| 森口 猷弘 | |

という活動に参加しました。そこで、子ども達が何時に起きて、何時に寝ているか、また朝ごはんを食べているかをアンケートで調べてみました。朝の目覚めが悪い子、遅くまで起きる子、早ね早起きをしている子、朝ごはんを食べていない子、しつかりと食べている子など、いろいろなか家庭の事情が浮かんできました。寝る時間が遅くなっても起きる時間がいつも一緒にしているのと寝る時間が早くなっているという子もいます。保護者にも声をかけて「早ね早起き朝ごはん」を言葉で協力をしていただき、また、友達と一緒に活動することが楽しくなるように計画し実行していきました。しばらく続けていくと保護者から「ぐずり寝るようになって、起きる時にならずらなくなつた」「早く寝るようになった」と良い結果が出てきて良かったと思います、これからも続けて行かなければと継続しています。

さて、短大部会では役員会を年四回開催しております。高短祭のバザーについて、クラスの同窓会への通信費補助について、その他情報交換を交えながらの話し合いです。毎年各理事の皆様の協力によりましてバザーを実施しており高短祭への参加も定着してきました。当日は、多くの来場者により賑わいを見せており

国際交流委員会

交換留学を終えて

神田 経二

本年度オーストラリアとの国際交流も15回目となりお互いに様子がわかっていて充実した研修となった。渡豪の前にメルボルン郊外で大きな山火事がありずいぶん心配したが、メルボルン市内は大きな被害もなく予定通りの行事が行われた。

今回は、コンピュータを用いてリアルタイムで日本と連絡をとうとうとこのことこちらからノートPCをもつていった。

オーストラリアのインターネットの環境はワイヤレスのプレペイド式USBモデムが普及してきたところでありいろいろな会社の製品が町にあふれていたのが印象的だった。

日本で事前に調べておいたものはオプトスという会社のものであったが、ホストと一緒に買ってもらったコンピュータショップで購入したものはM3という会社のものであった。通信速度は非常に早く快適であった。今後、スカイプというインターネットを用いた通信によりビデオを用いた英語教育に取り組もうとしている。生徒達は大きなトラブルもなく充実したホームステイを過ごしていた。メルボルンは比較的物価も安く人間関係も日本の一昔前の地域のコミュニティのようなものが存在しているところである。日本人観光客は少なくシドニーやケアンズ

とずいぶん違った印象であった。開拓時代の金鉱を復元したソブリンヒルで説明にあたっていた男の子は豊田市でホームステイをしたことがあるとのことと日本に対する親近感をもっていた。

こういった郊外をバスで移動している根元が墨のように黒くなった木々を見かけることがあり改めて、ブッシュファイヤーの恐ろしさを改めて知らされた。

動物園にも行ったのだが自然を大切にしようといった考え方が徹底して日本のように大規模なものでではなくシンプルで小規模ななるべくありのままに飼育していた。

メルボルンは高層ビルの立ち並ぶ都会で、ゴミゴミと密集したシドニーと違って広大な土地にゆったりとした町並みが広がっている。多数の国のコミュニティが存在しているこのことと今回のホームステイ中にも大きなお祭りがあり、イタリア、ギリシャ、イスラエルの人たちが独自の文化を披露している興味深かった。

オーストラリアは日本と違って多くの国の人々が助け合ってくらしている。生徒たちもいろいろな国の人とともに生活し生活習慣、食習慣の違いを身をもって体験してくれたと思う。このプロジェクトが今後もずっと続いて有意義な体験ができることを祈っている。

会員だより

夕立ちの駅

大森 生己(桂歌)

昭和二十六年高校卒

JR 駅に降りた午後沛然として大

夕立ちが降りし切って地に水溜りを作っていた。

無人駅となって久しい古びた待合室のベンチへ顔の雨を拭って腰を下ろした。

ふと前方のベンチの隅に少女も夕立ちの止むのを待っているのに声をかけた。

心の有無を私は重視するのである。何故なら有名大学を卒業しキャリアや大企業へ入り立身を目指すのだが、他者を思いやる人間性が欠落し育たなければ格差社会を生む凶を秘めているという私の思いが単なる杞憂に過ぎなければと思う。

護岸古り身を寄せ合いて残り鴨

樹心同窓会総会の帰りであった私と、少女は六年コースの二年生でテニスの部活の帰り、元会社役員の方のYさんの孫と分かり一気に親近感が私の心に広がったのである。

日曜日で家居していた父に彼女が電話し迎えに来た父親に感謝し言葉交すと彼も高田の卒業生で銀行勤務との話であった。

夕立ちの太く白い雨の束を自宅迄送ってもらい礼を述べて家へ走り込み濡れた服を脱いだ。

家で過ごしている、これは待合室で時間を過ごした方が賢明であったのにと申し訳ない思いがしきりであった。

年が明け私の地元公民館活動の年刊句集を母校俳句同好会へ贈るため少女の母へ敬意を添え少女に託した日があった。

千体の仏顔違う京若葉

桂歌

部活で下校が遅れ自宅の玄関の灯下で中学生の鑑のような澄んだ面輪と対話を思うにつけ、あの日の夕立ちの飛沫に濡れた駅のひとときを思う。暦日が流れ三年生となった少女Mさんとの再会は無く学業と部活を考慮し学校へ託す文書等を中止し自戒したのであった。

そしてまた新装成った苑での総会の季節が、万緑となる山川と共に近づきつつある。

二〇〇八年十月六日付J.P日本郵政労新聞より自作の入選短歌を一首

積年総会へ出席を重ねている私に校訓の「表裏相応」は生活者の現実

に即している。

学苑に学ぶ優秀な生徒の理念や情操を思うと同時に他人や弱者を思いやる

学びたるその日々の匂いすらなくて

耐震母校機器きらきらと

桂歌

上野 丞市 (S 06旧中卒)	森 定 (S 27高校卒)
山鹿 善三郎 (S 10)	白藤 幸照 (S 29)
桑山 壽美 (S 16)	草深 光子 (S 30)
山内 誠信 (S 16)	伊藤 光雄 (S 28中3卒)
平松 竜 (S 23)	町田 慶一 (S 31)
井ノ口 功 (S 24)	荒木 俊彦 (S 31)